

地域にささえられ 子どもたち元気

学校訪問

7月2日、総務教育厚生常任委員会で昨年に引き続き、町内の学校訪問を行いました。

*訪問コース

①「旧農山村具展示館」と「小林コレクション」②皆野小学校③三沢小学校④皆野中学校⑤皆野幼稚園⑥国神小学校

*目的

概要説明と学校施設見学、昨年の学校訪問で施設の改善等指摘した場所の点検。

*地域にささえられて!

先生方のお話を聞き、地域にさえられて、子どもたちが元気で学校生活を送っていると感じました。

三沢小の「おらが学校」と通学途中の子どもたちの見守り、「三沢ツアー」では、地元の方と子どもたちがいっしょに給食を食べ、なつかしい昔の写真を見ました。

国神小では地域の方々の協力で、

菊の観察、縄ない、サツマイモや田植えの体験。4月から国神小へ統合した元金沢小の子どもたち14名は元気にバス通学しています。

又、皆野幼稚園では国神小、皆野高校との交流が盛んに行われていきます。祖父母参観も新たな試みでやる予定です。

*施設の改善

皆野小の体育館の耐震補強工事が完了。内装もきれいになりました。三沢小の体育館の雨漏り対策は、昨年学校訪問で改善するよう要望し、現在屋根の張り替えを実施中です。昨年、改善を指摘しましたが、改善されていない場所については引き続き要望したいと思います。

(常山 知子)



三沢小改修工事

埼玉社会保険推進協議会の

自治体キャラバンin皆野町

様々な分野の団体や個人が参加し、社会保障という統一要求で、全県いっせいに各市町村への要請が行なわれました。6/26、皆野町への要請には16人が参加し、町側からは、健康福祉課長・税務課長・町民課長ら6人が対応され、一時間半にわたり要請・懇談をしました。

町からは、三つの理念「楽しく子育てできる町・元気で長生きできる町・安全で快適な町」に基づいて運営している。無料の24時間電話医療相談の開設、高齢者支援の「お出かけタクシー補助券」の導入は、病院や買い物などに大変な不便を抱えている高齢者を少しでも早い手立てをと「タクシーの半額補助」という形でスタートさせた。住民の声を聞き改善はしていきたいなど説明がありました。三沢に住んでいる参加者からは、バス停から1キロは遠い、500メートルにしてほしい

の要望も出されました。参加した常山知子議員からは、「健康体操に取り組んでいるが、希望者が増え会場の確保・会場費の負担が大変。秩父市のように会場は無料にしてほしい」と住民の声を伝えました。また、「毎週のパソコン教室の有料化はきびしい」「一年にまったく病院にかからなかった人に激励賞のようなものを出したらどうか」などの提案も出されました。

事前に皆野町からいただいた国保や介護に関するアンケート結果では、国保税を払いきれず「保険証」をもらえない方が昨年の2軒から12軒に増えており、医者にかかれないことは心配です。低所得者の増加・気力の低下などもあり、十分な個々の対応をお願いします。



